

目 次

I. 総括研究報告

レセプトデータ等を用いた、長寿化を踏まえた医療費の構造の変化に影響を及ぼす要因分析等のための研究(政策変更を「自然実験」とする弾力性の推計に係る実証研究) 1

研究代表者 野口晴子 早稲田大学 政治経済学術院

(資料 1) 第 1 回班会議 (2022 年 9 月 30 日)配布資料

(資料 2) 第 2 回班会議 (2023 年 3 月 20 日)配布資料

(資料 3) 野口晴子. (2022.06) 『時事評論 ポストコロナ社会に関する一考察—子どもの「学び」と「育ち」を守るために—』週刊社会保障,3173, 28-29

(資料 4) 野口晴子. (2022.10) 『時事評論 次世代へ向けた医療・介護ビッグデータの現状と課題』週刊社会保障,3192, 26-27

(資料 5) 野口晴子. (2023.01) 『時事評論 次世代へ向けた医療・介護ビッグデータの現状と課題—その 2』週刊社会保障,3201, 46-47

(資料 6) 第 1 回班会議 (2023 年 10 月 4 日)配布資料

(資料 7) 第 2 回班会議 (2024 年 3 月 27 日)配布資料

(資料 8) 野口晴子. (2024.02) 『時事評論 後期高齢者に対する窓口負担引き上げの影響』週刊社会保障, 3256, 28-29.

II. 研究成果の刊行に関する一覧表..... 119